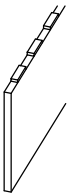


重量 9.0kg



主部材詳細図

表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ (JIS H8641)

<table border="1"> <tr> <td>訂正年月日</td> <td>訂正番</td> <td>訂正年月日</td> <td>訂正事項</td> <td>訂正者</td> <td>承認印</td> <td>承認印</td> <td>検印</td> <td>製図</td> <td rowspan="5"> 図面名称 U字溝用(スチール) グレーチング 溝幅180用 細目 ノンスリップ 歩道用 NHU193N-18 </td> <td rowspan="5"> 株式会社 マキテック MK駐輪事業部 </td> <td rowspan="5"> 図番 MGK-N-495 </td> </tr> <tr> <td>標準製作図面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>試作図面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特注図面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>検討図面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	訂正年月日	訂正番	訂正年月日	訂正事項	訂正者	承認印	承認印	検印	製図	図面名称 U字溝用(スチール) グレーチング 溝幅180用 細目 ノンスリップ 歩道用 NHU193N-18	株式会社 マキテック MK駐輪事業部	図番 MGK-N-495	標準製作図面								試作図面								特注図面								検討図面																		
	訂正年月日	訂正番	訂正年月日	訂正事項	訂正者	承認印	承認印	検印	製図				図面名称 U字溝用(スチール) グレーチング 溝幅180用 細目 ノンスリップ 歩道用 NHU193N-18	株式会社 マキテック MK駐輪事業部	図番 MGK-N-495																																								
	標準製作図面																																																						
	試作図面																																																						
	特注図面																																																						
検討図面																																																							
						平元	山口	松本																																															
						材質	数量	縮尺																																															
						SS400																																																	

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	NHU193N-18
	製品寸法	165x995x19
	主部材	FB - 3 × 19

2 設 計 条 件	支点間距離	L= 180	許容たわみ量	$\delta b = L/500 = 0.36$
	主部材ピッチ	O= 12.5 mm	ヤング係数	E = 2100000 N/mm ²
	断面二次モーメント	Z= 0.171 cm ⁴ = 1710 mm ⁴		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。 $\omega = \text{設計強度} \times \text{ピッチ} \quad \text{より}$ $\omega = 0.005 \times 12.5$ $\omega = 0.06 \text{ (N/mm)}$
	2. ベアリングバーの最大たわみ: δ (mm)を求める。 $\delta = 5 \times \omega \times L^4 / 384 \times E \times I \quad \text{より}$ $\delta = 5 \times 0.0625 \times 1049760000 / 384 \times 2100000 \times 1710$ $\delta = \underline{0.00024 \text{ (N}\cdot\text{mm)}} \leq 0.36 \quad \text{(許容たわみ量)}$

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--